

※ 網掛けのない部分が計画、網掛けの部分が評価結果を受けて記入する。

1 教育目標（目指す児童像含む）

(1) 基本方針	広い視野をもち、心身ともに健康で、創造性と実践力に富む心豊かな児童の育成を目指す。		
(2) 具体目標	【時代を拓く日本人を育てる】		
	○ よく学び考える子	○ 思いやりのある子	○ たくましい子

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

創立140年の歴史や伝統、そして豊かな自然や文化に培われてきた本校で学ぶ全ての児童に対し、全ての教職員が知識・技能・能力を結集し、教育目標の達成を目指す。そのためには、一校一家の校風のもと、全ての教職員の和と信頼を以て、児童・保護者・地域の方々と協和し、創意と工夫・活力に満ち充実した教育活動を展開していく。また、開かれた学校づくりを目指すため、地域や家庭との相互理解に基づき、地域の教育的資源を三育（共育・協育・響育）精神をもって活用しながら学び合い、喜び合い、励まし合う教育実践に取り組む。

3 学校経営の方針（中期的視点） ※地域学校園内で共通する方針は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

(1) 楽しく居がいのある学校づくり
(2) <u>生きる力を育む教育実践</u>
(3) <u>社会性の育成</u>
(4) <u>開かれた学校づくり</u>
(5) 自己研鑽及び経営組織の活性化

4 今年度の重点目標（短期的視点） ※地域学校園内で共通する目標は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

【学 校 運 営】	確かな学力の育成のための基礎基本の定着と、開かれた学校づくりを推進するための地域の教育力資源の積極的活用
【学 習 指 導】	<u>自分の考えをもち</u> 、進んで学び合い、表現する力の育成と基礎基本の定着
【児 童 生 徒 指 導】	<u>相手の気持ちを考え</u> 、正しく判断し行動できる児童の育成
【健康（保険安全・食育）・体力】	<u>健康・体力の向上を目指し</u> 、元気で安全に生活しようとする児童の育成

5 自己評価（評価項目のAは市共通、Bは学校独自を示す。）

※地域学校園内で共通する取組は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

※「主な具体的な取組」の方向性には、A拡充 B継続 C縮小・廃止、を自己評価時に記入する。

項目	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評価
学校運営の状況	A1 学校は、活気があり、明るくいいきとした雰囲気である。 【数値指標】【数値指標】 全体アンケート「自分は今の学校が好きである」⇒児童の肯定的回答 90%以上	① 各行事や児童会活動を工夫し、児童が主体的に活動する場を設定するなどの活性化を図る。 ② 児童の心の安定や居がいのある場所づくりをするため、「先生とお話ししよう週間」を効果的に実施していく。	B	【達成状況】 ・児童の肯定的回答は95.2%であり、指標を上回った。 ・学校全体は明るい雰囲気であり、児童は学校生活を楽しく過ごしている。 ・児童と教師が話をする時間を設けて、児童が安心して学校生活を送れるような雰囲気づくりに努めた。 【次年度の方針】 ・各種行事や集会の反省等を踏まえ、児童が主体的に活動でき、楽しく充実感を味わえる場を適切に設定する。

A2 教職員は、組織の一員として熱心に教育に当たっている。	① 授業のねらいを明確にして教室等に掲示するなど、学習に対する意識化を深められるよう工夫する。	B	【達成状況】 ・児童の肯定的回答は 98.5%であり、指標を上回った。
【数値指標】 全体アンケート「先生方は、大切なことを熱心に指導してくれる」⇒児童の肯定的回答 90%以上	② 構造的な板書を行ったり、大型TVで電子教科書を活用したりする等して、児童が意欲をもって学習に取り組むよう指導法を工夫し、積極的に公開していく。		・授業公開や校内研修を行い、分かる授業のための指導法の工夫に努めた。 【次年度の方針】 ・今後も校内研修や個人研修に努め、学びや情報を共有する機会を計画的に実施して指導法をさらに工夫する。
A3 児童は、授業と生活のきまりやマナーを守り、秩序があり安全な学校生活をしている。	① 毎月、学校全体の生活目標から、学級ごとに生活目標を設定し、児童に具体的な生活目標をもたせることにより、基本的な生活習慣の徹底を図る。	A	【達成状況】 ・児童の肯定的回答は 90.1%であり、指標を上回った。
【数値指標】 全体アンケート「児童は、授業と生活のきまりやマナーを守って生活している」⇒児童の肯定的回答 90%以上	② 大きな目標から週の生活目標へとスモールステップ化や、また毎月の朝会や集会活動等でふり返りを行うなど、細やかな指導を行う。		【次年度の方針】 ・白沢小「生活のやくそく」をもとに時間を守りけじめのある生活ができるように指導を継続して、生活規律の確立に努める。 ・月別生活目標を具体化した学級目標の設定や振り返り等から意識の高揚を図る。
A4 教職員は、分かる授業や児童にきめ細やかな指導を行い、学力向上を図っている。	① ティーム・ティーチングや習熟度別学習の工夫、かがやきルームの活用により、 <u>児童一人一人に応じたきめ細かな指導をする。</u>	B	【達成状況】 ・児童の肯定的回答は 96.7%であり、指標を上回った。
【数値指標】 全体アンケート「先生方の授業は、分かりやすく、一人一人に丁寧に教えてくれる」⇒児童の肯定的回答 90%以上	② 基礎力を養う朝の学習「プロジェクトS」と国語・算数の密接な関連により、分かる授業に努める。		・児童は習熟度別学習のコースの特性を理解して選択、学習できるようになってきている。 【次年度の方針】 ・コースの特性をより生かした指導方法を研究するとともに、習熟度の幅をもたせた少人数学習による学び合いを取り入れて学力の向上を図る。
A5 日課、授業、学校行事などの教育課程は、適切に実施されている	① 昨年度の反省をもとに、日課や行事等の見直しを図り、適切に実施する。	B	【達成状況】 ・児童の肯定的回答は 96.7%であり、指標を上回った。
【数値指標】 全体アンケート「私の学校生活や様々な活動は充実している」⇒児童肯定的回答 90%以上	② 行事毎に実施している評価・反省から改善のための検討を行い、次年度に活かす。		・学校行事はその都度評価反省を行い、それをもとに内容の改善を図った。 【次年度の方針】 ・今後も教育活動の工夫・改善に向けた取り組みを続け、学校全体の活性化を図る。
A6 学校の公開や情報の積極的な発信・提供が行われ、開かれた学校づくりが進められている。	① 学校だより・学年だより・としょだより・ほけんだより・食育だより等を毎月発行し、 <u>保護者はもとより、地域住民にも情報を提供する。</u>	B	【達成状況】 ・保護者の肯定的回答は 97.7%であり、指標を上回った。
【数値指標】 全体アンケート「学校は、学校便りや学校公開などで、積極的に情報を発信・提供している」⇒保護者の肯定的回答 80%以上			【次年度の方針】 ・各種たよりの発行やHPの更新を継続し、地域住民や保護者への積極的な情報提供にさらに努める。

教育活動の状況		A7 学校と家庭・地域・企業等との連携・協力を図った地域の学校づくりが推進されている。 【数値指標】 全体アンケート「学校は、家庭、地域、企業等と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている」⇒地域住民の肯定的回答 80%以上	① 「白沢小学校地域協議会」と連携し、<u>各種事業の実施を通して学校経営の充実を図る。</u> ② <u>学校支援ボランティアと連携し、</u>教育活動や登下校の安全確保に努める。	B	【達成状況】 ・地域住民の肯定的回答は 100%であり、指標を上回った。 ・PTAや地域協議会をとおして、地域と連携協力した教育活動が実施できた。 【次年度の方針】 ・今後も地域協議会と連携して、学校支援ボランティアの支援を得ながら地域の教育力を生かした取組みを継続していく。
		A8 校内は、学習にふさわしい環境となっている。 【数値指標】 全体アンケート「学校は、清掃が行き届き、学習しやすく潤いのある環境である」⇒保護者の肯定的回答 90%以上	① 毎月の校舎内安全点検により、危険個所の早期発見・修繕・補修を的確に実施する。 ② 学年縦割り清掃における役割分担を明確にし、環境の維持と整備に努める。	B	【達成状況】 ・保護者の肯定的回答は 95.7%であり、指標を上回った。 ・安全点検も含めた施設・設備の点検、修繕の実施により、校内の環境を整備した。 【次年度の方針】 ・清掃時の縦割り班の指導や校内の掲示等について共通理解を図り、望ましい環境づくりを進める。
		B1 地域との連携を大切にし、地域から学ぶ姿勢を一人一人の教職員が身に付ける。 【数値指標】 学校独自のアンケート「学校は、地域素材や人材を活用した学習を積極的に行っている」⇒地域住民の肯定的回答 90%以上	① <u>地域探検や食農体験学習等、地域素材や人材・施設を活用した学習を実施する。</u>	B	【達成状況】 ・地域住民の肯定的回答は 100%であり、指標を上回った。 【次年度の方針】 ・総合的な学習の時間での地域人材の活用や学校行事での地域施設の活用を継続して、地域の教育資源を有効に取り入れていく。
	学生生活	A9 児童は、進んであいさつをしている。 【数値指標】 全体アンケート「児童は時と場に応じたあいさつをしている」⇒児童の肯定的回答 90%以上	① <u>児童代表委員を中心とした朝のあいさつ運動を、学校園全体で実施し、意識化・実践化を図る。</u> ③ 校内の「あいさつ通り」を活用するとともに、家庭と連携して指導の徹底を図る。	B	【達成状況】 ・児童の肯定的回答は 92.3%であり、指標を上回った。 ・大きな声でのあいさつや返事、丁寧な話し方に改善がみられるようになった。 【次年度の方針】 ・家庭や地域との連携を図り、家庭に呼びかけたり地域学校園でのあいさつ運動を継続したりする。 ・時と場に応じたあいさつの指導を日常生活の中で強化する。
		A10 児童は、正しい言葉づかいをしている。 【数値指標】 全体アンケート「児童は、大人に対して適切な言葉遣いをしている」⇒児童の肯定的回答 90%以上	① 友だち同士で「くん・さん」づけで呼び合うよう、普段からの指導を根気よく継続する。 ② 掲示物を用いた指導法を工夫する。	A	【達成状況】 ・児童の肯定的回答は 86%であり、指標をやや下回った。 ・白沢小「生活の約束」での重点指導項目に掲げ、共通理解した上で日常の指導を行った。 【次年度の方針】 ・家庭との連携をとりながら、正しい言葉づかいについてきめ細かに指導していく。 ・来年度も「生活の約束」の重点項目として指導を継続する。

	B2 相手の気持ちを考え、正しく判断し行動している。 【数値指標】 学校独自のアンケート「学校は、担任・教職員・スクールカウンセラーによる教育相談を計画的に行っている」⇒児童の肯定的回答 90%以上	① 担任による「お話ししよう週間」（年2回）やスクールカウンセラーによる教育相談、教職員による事例研究会等を計画的に実施する。	B 【達成状況】 ・児童の肯定的回答は 92.3%であり、指標を上回った。 ・家庭との連携を図るため、保護者とスクールカウンセラーとの教育相談の機会を定期的に設けた。 【次年度の方針】 ・年2回の「お話ししよう週間」の期間を少し長く設けて、児童の悩み等を早期に把握したり毎月の児童指導の情報交換会を実施したりして継続する。
	A11 児童は、進んで運動する習慣を身に付けている。 【数値指標】 全体アンケート「児童は、休み時間や放課後などに進んで運動している」⇒児童の肯定的回答 80%以上	① 「がんばりカード」を活用し、児童が達成感を味わえるような体育授業の工夫や、休み時間などの外遊びの奨励について工夫する。	B 【達成状況】 ・児童の肯定的回答は 87.9%であり、指標を上回った。 【次年度の方針】 ・持久走大会や縄跳び記録会など、児童が目標をもって取り組む行事を継続していく。 ・各種検定カードやがんばりカードを有効に活用して意欲を高め、運動を習慣化していく。
健康・体力	A12 児童は、栄養のバランスを考えて食事をしている。 【数値指標】 全体アンケート「児童は、好き嫌いなく給食を食べている」⇒児童の肯定的回答 90%以上	① 養護教諭や栄養士と連携し、指導の工夫・充実を図る。 ② 各種たよりを活用して保護者と連携し、偏食の矯正について啓発を図る。	B 【達成状況】 ・指標をやや下回ったが、昨年度の 83.9%より上がり、児童の肯定的回答は 86%だった。 【次年度の方針】 ・日々の給食指導の中で食を楽しむ気持ちを大切にしながら、苦手なものも少しでも食べられるような食育の工夫をしていく。 ・地域学校園でのお弁当の日の実施や食育たよりの発行により、家庭への食に対する関心をさらに高める。
	B3 健康・体力の向上を目指し、元気で安全に生活しようとしている。 【数値指標】 学校独自のアンケート「学校は、気力と体力の充実を目指した運動の機会を計画的に行っている。」⇒児童の肯定的回答 90%以上	① 本校で研究した7種類の「けがや危険を回避できる運動」を継続的・計画的に実施する。	B 【達成状況】 ・児童の肯定的回答は 90.8%であり、指標を上回った。 ・安全教育を学校課題とし、全校生による安全マップの作成や体育の時間での危険を回避する運動、安全集会などを行った。 【次年度の方針】 ・地域・保護者との連携を密にして、安全教育の充実を継続する。
学習	A13 児童は、進んで学習に取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケート「児童は、授業中に進んで話し合うなど、積極的に学習している」⇒児童の肯定的回答 80%以上	① 授業の更なる理解につながる読解力などの国語力を伸ばすため、朝の学習でのリライト教材の活用に努める。 ② 学習ルールの徹底を図るとともに<u>話の聞き方や話し方の指導に力を入れ、児童相互の学び合い活動の充実を図る。</u>	B 【達成状況】 ・児童の肯定的回答は 91.1%であり、指標を上回った。 ・「話し方・聞き方・声の大きさ」のルールが身についてきている。 【次年度の方針】 ・児童が更に自信をもって自分の思いや考えを伝えられるように学習過程の場面や話合いの形態、ねらい等を研究していく。

	A14 児童は、落ち着いて学習に取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケート「授業中に先生や友達の話の聞くなど、落ち着いて学習している。」⇒児童の肯定的回答 90%以上	① 「学習の約束」や<u>古里学校園で作成した「家庭学習のすすめ」を配布し、家庭と連携して学習習慣の形成に努める。</u>	B	【達成状況】 ・児童の肯定的回答は 91.1%であり、指標を上回った。 ・家庭学習や学習用具の準備の習慣化が見られ、教師との信頼関係も構築されてきている。 【次年度の方針】 ・学習の約束や姿勢・家庭との連携に更なる工夫を加えながら、学習習慣の定着に努め、学業指導の充実を図る。
本校の特色・課題等	B4 地域学校園を基盤とした交流・教育活動を実施する。 【数値指標】 学校独自のアンケート「学校は、地域学校園をはじめ、幼・保・小・中・特別支援学校との交流を大切に活動をおこなっている」 ⇒教職員の肯定的回答 90%以上	① 小中一貫教育部会の計画的開催や交流行事・学習活動を計画的に実施する。	B	【達成状況】 ・教職員の肯定的回答は 100%であり、指標を上回った。 ・学年の特性に応じた交流行事や学習が計画に沿って実践できた。 【次年度の方針】 ・交流行事や活動のねらいを十分検討し、心の交流につながる活動になるよう、工夫を加えながら継続していく。

〔総合的な評価〕

※地域学校園内で共通する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

【成果】

- ・どの項目も概ね肯定率が昨年度より上がっており、学校・家庭・地域との連携も図られ、児童は明るく生き生きと学校生活を送ることができた。
- ・地域協議会を中心に、学校教育支援ボランティアの協力を受けて、地域から学ぶ授業や地域と連携した授業を実施したりしながら地域の教育力を生かした活動を推進することができた。
- ・「安全意識を高め、よりよい生活ができる児童の育成」という学校課題に基づき教職員が協同して校内研修に励み、指導の工夫・改善により児童の判断力や行動力を伸ばすことができた。
- ・各種の検定や頑張りカードを使った体力づくりに取り組み、目標をもって努力する態度を育てることができた。
- ・土曜授業や学校一日公開での授業参観、各種便りやホームページなどにより、開かれた学校づくりに努めることができた。

【課題】

- ・場に応じた言葉づかい・あいさつは児童・保護者ともに肯定率が昨年度より上がっている。ただ、言葉づかいについては、教職員の肯定率が下がっているため、子どもたちには場に応じた言葉づかいを日々の学校教育の中で身に付けさせていくように指導を継続する。家庭と地域が一体になって行える活動を推進しながら、身に付けさせていく。
- ・児童は落ち着いて学習に取り組んでいるので、引き続き学校教育支援ボランティアの協力を得ながら、体験的学習や問題解決学習の工夫、学び合い学習の充実に向けて思考力や表現力を育てていく。

6 学校関係者評価

- ・あいさつはコミュニケーションの第1歩なので、まず、自分からあいさつができる子を育てたい。また、朝はあいさつの声が小さいが、帰日には元気にあいさつをする子もいる。あいさつも言葉づかいも、まず学校での指導を根気強く続け、これからも保護者・地域が一体となって取り組んでいきたい。
- ・将来のことを考えて、小学校の時から自分の意見をはっきり言えるように育ててほしい。
- ・食べ物好き嫌いについては、子どもも教職員も「好き嫌なく食べている」という項目の肯定率が上がっている。ランチルームを活用した異学年交流給食やお誕生給食、給食週間の完食シールなど、子どもたちが楽しく食事ができる工夫が進められているので、家庭への啓発を今後も継続してほしい。
- ・昨今の生活環境の変化により、子どもたちが今まで日常的に行っていた体験が不足してきている。休み時間の外遊びを奨励してボール投げなどを体力づくりに生かしてほしい。

7 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※地域学校園内で共通する方針・重点目標・取組にかかわる内容は，文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

【確かな学力の育成について】

- ・基礎・基本の定着を図るために朝の学習の時間や内容の見直しを図るとともに，引き続きＩＣＴを積極的に活用し，児童の学習への意欲を高める。
- ・保護者・家庭と連携して家庭学習の習慣化を図ったり，校内研修等を通して児童の思考力や表現力を育てる研究に力を入れたりして，教育活動の充実を図る。

【豊かな心の育成について】

- ・地域学校園や校内でのあいさつ運動，時と場に応じた言葉づかいの指導に力を入れ，家庭への啓発も行いながら引き続き取り組む。
- ・人権を意識した教育活動を展開し，自分も周りの人も同じように大切にしたい態度や行動がとれるよう指導に力を入れる。

【健康・体力の向上について】

- ・望ましい食習慣を身に付けさせるための取組を継続し，家庭との協力体制を図っていく。
- ・元気っ子体力チェックの分析をもとに，教科体育の充実や休み時間の外遊びの奨励を継続する。

【保護者・地域に開かれた学校づくりについて】

- ・保護者や地域住民に学校の様子を見ていただく機会を計画的に設けたり，ホームページによる情報の積極的な発信・提供に努めたりして，「開かれた学校づくり」を継続する。